投　稿　規　定

1．筆頭著者および共著者は本学会の会員に限られる（ただし，研修医報告はこの限りではない）.
2．投稿論文は，編集委員会の審査を受け修正を指示されることがある． 指定期間内に修正されない場合は再投稿となることがある.
掲載は，編集委員会の承認を経る.
3．投稿論文の種類と分量は以下の通りとする（表）.
ワードにて横書きで作成し，A4 紙に明朝の書体にて出力する.
① 総説：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め 17,000 字以内とする．図表は合計 5 点以内，文献は 50 個程度とする．ただし，原稿総量は刷り上がり 8 頁を越えないこととする.
② 原著：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め 17,000 字以内とする．図表は合計 7 点以内，文献は 10 ～ 20 個程度とする．ただし，原稿総量は刷り上がり 8 頁を越えないこととする.
③ 症例報告：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め 8,000 字以内とする．図表は合計 7 点以内，文献は 10 ～ 15 個程度とする．ただし，原稿総量は刷り上がり 4 頁を越えないこととする.
④ 実践報告・資料：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め 8,000 字以内とする．図表は合計 5 点以内，文献は 10 個程度とする．ただし，原稿総量は刷り上がり 4 頁を越えないこととする.
⑤ 短報：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め 4,000 字以内とする．図表は合計 2 点以内，文献は 10 個程度とする．ただし，原稿総量は刷り上がり 2 頁を越えないこととする.
⑥ 研修医報告：要旨・本文・図表（下記文字換算を目安に）・文献・英文抄録を含め 4,000 ～ 17,000 字とする．図表は合計 7 点以内，文献は 10 ～ 20 個程度とする．ただし，原稿総量は刷り上がり 2 頁以上 8 頁を越えないこととする． 内容は原著か症例報告とする．投稿者は日本小児科学会後期研修医とし，同一人物は 1 回のみの投稿受付とし，現状の専門制度等を鑑み，迅速な審査を行う.
⑦「編集者への手紙」：簡潔に記載すること.
※刷り上がり本文 1 頁は，図表を含まない場合，2,000 字程度である.
※図表の刷り上がり換算の目安は，大 1,200 字程度，中 700 字程度，小 300 字程度である.
4．要旨：総説・原著・症例報告・実践報告・資料・短報・研修医報告には，400 字以内の要旨を付す.
5．キーワード：総説・原著・症例報告・実践報告・資料・短報・研修医報告には 5 語以内のキーワードを付す.
6．総説・原著・症例報告・実践報告・資料・短報・研修医報告の提出では，表題，論文種別，キーワード，所属，著者名，著者連絡先（住所／ TEL ／ FAX ／ E-mail）を記載した表題の頁を添付すること．なお，表題の頁は規定分量に含めない.
7．総説・原著・症例報告・実践報告・資料・短報・研修医報告は，表題の頁以下を，要旨，本文，文献，図表，英文抄録の順とする．ページ番号は本文の最初を 1 頁目とし，以下順に文献まで振る．図表の挿入箇所を，本文横に赤字で記載する.
8．次の諸費用は，以下の通りとする.
① 総説・原著の場合，刷り上がり 8 頁まで無料.
② 症例報告・実践報告・資料の場合，刷り上がり 4 頁まで無料.
③ 短報の場合，刷り上がり 2 頁まで無料.
④ 研修医報告の場合，刷り上がり 8 頁まで無料.
⑤ カラー製版・図表トレースの実費，また，規定ページを超える場合は 1 頁につき 10,000 円の印刷費実費負担とする.
9．原稿は専門用語以外は当用漢字，新仮名遣いとする.
10. 図表は，データ（パワーポイント，PDF，jpg 等）にて作成し，図表 1 点を A4 紙に印刷する．また，白黒掲載の場合は白黒（グレースケール）データにて作成・印刷し，カラー掲載の場合のみカラーデータにて作成・印刷する.
11. 英文抄録は，表題，著者名，所属，キーワード，抄録（総説・原著・症例報告・研修医報告は 300 語以内，実践報告・資料・短報は 200 語以内）の順とする．英文は必ず次の条件を満たしているものであることとする.
① ワードにて Century の書体で作成する.
② 熟達した人の英文であるか，その校閲を経ている.
12. 外国の人名は原語，薬品名は一般名，専門用語は日本語とし，紛らわしいものは括弧（ ）内に原語を入れること.
度量衡の単位は c.g.s. とする.
13. 引用文献の記載
（1）文献は投稿規定を超えないよう必要最小限にとどめること.
（2）記載順序は引用順とし，本文中の引用箇所は，その右肩に片括弧付きアラビア数字を記入すること.

Presented by Medical*Online

（3）文献の書き方は，次の形式による．
① 雑誌の場合：著者名．表題．雑誌名発行年；巻：最初ページ-最終ページ．（電子ジャーナルはDOI論文番号がある場合はそれを記載する）
② 単行本の場合：著者名．書名．版数．発行社の所在地名：発行社，発行年．
③ 分担執筆による単行本の中の分担部分の引用の場合：著者名．分担執筆部分の表題．編集者名．書名．版数．発行社の所在地名：発行社，発行年：分担部分の最初ページ-最終ページ．
④ 雑誌名は，その雑誌指定の略名がある場合はそれを用い，ない場合はIndex Medicusあるいは医学中央雑誌の収載誌略名を用いること．
⑤ 発行年は西暦を用いること．
⑥ ページは通巻ページを用いること．
⑦ 著者名は3名までは全員を記載する．4名以上の場合は最初の3名を記載し「，他」，外国語文献の場合は「, et al.」を付する．
⑧ Webページの場合
著者名（分かれば）．“Webページの題名”Webサイトの名称．入手先 URL,（参照日付）． とし，数年間はデータを保存する．
⑨ 実例
a）Stewart JM. Common syndromes of orthostatic intolerance. Pediatrics 2013; 131: 968-980.
b）Stewart JM, Boris JR, Chelimsky G, et al. Pediatric Disorders of Orthostatic Intolerance. Pediatrics 2018; 141: e20171673
c）永光信一郎．思春期健診とCBTアプリによる思春期ヘルスプロモーション．子の心とからだ 2021；29：359-364.
d）柳本嘉時，石﨑優子，増田直哉，他．偏食と体重増加不良を主訴に受診した自閉症スペクトラム障害児6例の栄養評価．子の心とからだ　2020；29：260-265.
e）Dorken B, Moller P, Pezzuto A, et al. CDw75. In:Knapp W, Dorken B, Gilks WR, et al, eds. Lymphocyte typing IV: white cell differentiation antigens. New York: Oxford University Press, 1989: 109-110.
f）日本小児科学会小児死亡登録・検証委員会．“子どもの死に関する我が国の情報収集システムの確立に向けた提言書”公益社団法人日本小児科学会 http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php（参照 2014-1-27）
g）アントニア・ビフィルコ，ジェラルディン・トーマス（著）．吉田敬子，林もも子，池田真理（訳）．アタッチメント・スタイル面接の理論と実践．東京：金剛出版，2017.

14. 執筆者は，一般社団法人日本小児心身医学会雑誌「子どもの心とからだ」誌 編集室宛てに，簡易書留にて原稿（図表を含む）正2部を送付し，E-mailにてデータ全てを送付する．なお，執筆者は手元に別に1部を保存する．
15. 論文の初回投稿時に，「日本小児心身医学会雑誌「子どもの心とからだ」に掲載された原稿の版権に関する同意書」および「投稿承諾書」を同封するものとする．「同意書」および「承諾書」は，本誌に添付の様式で作成する（添付用紙をコピーして使用も可）．なお，各書類ファイルは本学会HPよりダウンロードすることもできる．
16. 利益相反に関しては，日本小児心身医学会が定める「利益に関する開示文書」に則り，投稿時に有無について開示する．
17. 本誌への投稿は未公刊のものに限り，重複投稿は認めない．
18. 倫理面に関しては，ヘルシンキ宣言に準拠する．
19. 論文の著作権は，一般社団法人日本小児心身医学会に所属する．
20. 論文は，印刷雑誌および学会が指定するインターネット配信により二次利用する．
21. 原稿送付先：〒606-8305　京都府京都市左京区吉田河原町14 近畿地方発明センタービル株式会社知人社 編集部内
一般社団法人 日本小児心身医学会雑誌「子どもの心とからだ」誌 論文投稿係
TEL：075-771-1373 ／ E-mail:kokoro-karada@chijin.co.jp

〈表　投稿論文の種類と執筆規定一覧〉

	総文字換算　※1，2	要旨	キーワード	図表	文献数	英文抄録	刷り上がり
総説	17,000字以内	400字以内	5語以内	5点以内	50個程度	300語以内	8頁以内
原著論文	17,000字以内	400字以内	5語以内	7点以内	10～20個程度	300語以内	8頁以内
症例報告	8,000字以内	400字以内	5語以内	7点以内	10～15個程度	300語以内	4頁以内
実践報告	8,000字以内	400字以内	5語以内	5点以内	10個程度	200語以内	4頁以内
資料	8,000字以内	400字以内	5語以内	5点以内	10個程度	200語以内	4頁以内
短報	4,000字以内	400字以内	5語以内	2点以内	10個程度	200語以内	2頁以内
研修医報告	4,000～17,000字以内	400字以内	5語以内	7点以内	10～20個程度	300語以内	2頁以上8頁以内
編集者への手紙	簡潔に記載						

※1　図表の文字換算は，大1,200字程度，中700字程度，小300字程度である．
※2　刷り上がり本文1頁は，図表を含まない場合，2,000字程度である．
※3　図表のトレース，カラー製版は執筆者実費負担とする．
※4　刷り上がり頁内を越えた場合，超過分1頁につき10,000円の印刷費を執筆者実費負担とする．

2012年6月30日改訂　2014年6月30日改訂　2015年1月12日改訂　2016年9月10日改訂　2016年12月1日改訂
2017年9月14日改訂　2018年7月22日改訂　2021年4月1日改訂

Presented by Medical*Online

日本小児心身医学会雑誌「子どもの心とからだ」に掲載された原稿の版権に関する同意書

タイトル「＿＿＿

投　稿　承　諾　書

（著者が単独の場合は，提出は不要です.）

下記の論文は

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿所属＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が

筆頭著者であり，日本小児心身医学会雑誌「子どもの心とからだ」に投稿することを共著者として承諾いたします.

記

論文題目「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

共著者

会員番号	所属	氏名	
（　　）			印
（　　）			印
（　　）			印
（　　）			印
（　　）			印
（　　）			印
（　　）			印
（　　）			印
（　　）			印
（　　）			印

（日付：西暦　　年　　月　　日提出）

Presented by Medical*Online

利益に関する開示文書

（2017年4月）

日本小児心身医学会 利益相反の開示すべき項目

1　産学連携活動に係る受け入れ額が，1企業あたり年間200万円以上（所属機関からの間接経費が差し引かれる前の金額）の場合

2　コンサルタント．指導．講演．給与としての個人収益が，1企業あたり年間100万円以上（税金や源泉徴収額を引く前の金額）の場合

3　産学連携活動に係る個人収益（公開･未公開を問わず，当該企業の株式等の出資･取得･保有及び売却･譲渡，ストックオプションの権利譲受，もしくは，役員報酬，特許権使用料等）が1企業あたり年間100万円以上あった場合（但し，投資信託，もしくは，当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く）

4　上記1～3のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合

該当しない場合には，「日本小児心身医学会の定める利益相反に関する開示事項はありません」と論文の末尾に記入する．

該当する場合には，「日本小児心身医学会の定める利益相反に関する開示事項に則り開示します．（企業名）から（○○円）」と論文の末尾に記入する．

学術集会演題，機関誌投稿論文，いずれの場合も，個人収益の場合は，前年の1月1日から12月31日まで，ただし，寄付金や企業からの受託等，産学連携活動に係る研究の場合は，前年4月1日から本年3月31日までの期間でも可．

Presented by Medical*Online